

Jon Chan

コンクリートムーブメンツ, 2020

Jon Chan の絵画「コンクリートムーブメンツ」は、時間の動きを瞑想した作品です。よく見ると、風景は池と都市の道路の重なり合った写真画像で構成されているように見えます。池の影と色を見てください。描かれた池が、異なる日や様々な時間に描かれていることがわかりますか？同様に、道路の絵から時刻がわかりますか？

この作品は、自然の本質的な要素である水と現代文明の本質的な要素であるコンクリートとを並べています。両方が同時に存在しますが、場所は異なり、どちらも静かで人気がありません。

これらの場所は明日どのように見えるでしょうか？来週は？来年は？時間の経過を感じますか？それともここでは識別できませんか？

変化は自然の中でより明白かもしれませんが、コンクリートの道路もまた摩耗や損傷を受けやすいものです。太陽に焼かれ、水が流れ、車や歩行者の往来によって、コンクリートの道路には新しい亀裂が生じ、細かく砕けてゆきます。そして道路に手入れや修理の跡が残ってゆきます。いずれにせよ、時間の経過を微かながら残してゆきます。

これらの画像はすべてシンガポール内で、その多くはシンガポールのサーキットブレーカー期間中に撮影されました。ここは、過去と未来について瞑想することができる転換点です。

私たちはコンクリートは硬く、水は形状が変化する性質と考えますが、写真の画像で構成されるこの作品では、キャンバス上に油彩で描くという古典的な技法で表現されているのも、興味深いポイントです。そしてまた、アーティストがライフワークとして静止した時を捉えた作品なのです。